

2017－18 年度第一回例会挨拶

会長 伊藤信弘

皆様こんにちは。第 54 代佐藤明信会長からバトンを頂き、第 55 代会長として一年間務めます伊藤信弘です。

2003－4 年度倉島紀夫会長の時に入会をさせて頂き、まだまだロータリーについて経験、知識も足りませんがこの一年間を通して自らも学びながら一生懸命に福島北ロータリークラブ会長として精進いたします。

2017－18 年国際ロータリークラブ会長のイアン H.S.ライズリー氏が「ロータリー：変化をもたらす」をテーマにしました。本日お渡ししましたバッチのデザインは人類の多様性を表しています。

ロータリークラブは世界中で 120 万人の会員が、112 年の歴史の中で成長し、成熟し、会員と地域社会の変わりゆくニーズに対応しながら大きく変わってきました。しかし、根本は地域社会と世界に変化を生み出したいという願いを、ロータリーと通してそれを実現できる人が集まった組織です。だから「ロータリーとは何ですか」の質問に「私たちは、奉仕を通じて変化をもたらす事を行動できる人の集まり」と答えられます。

2017－2018 年度国際ロータリー第 2530 地区ガバナーの鈴木邦典氏は、ライズリー会長の方針を受けて地区の方針に「公共イメージの向上キャンペーン」を掲げました。我が福島北クラブからは、佐藤吉弘ガバナー補佐と、大槻博太、佐藤允昭両幹事に、地区の方針を文区に浸透させるべく力になって頂きます。

佐藤吉弘ガバナー補佐をクラブ全員でお支えしながら RI、地区方針の「公共イメージ向上キャンペーン」を一年通して行ってまいります。この福島北ロータリークラブが 55 年の歴史あるクラブである事を地域社会に発信し、クラブ内においては歴史を刻んできた先輩を顕彰しながら、次の 60 周年へのバトンを渡せるよう、「愉しむロータリーライフ、変革の心で迎えよう 60 周年」をテーマに掲げました。

IoT や AI の利用でこれからの時代が大きく変わろうとしている今、ロータリーの不変のものは尊び、しかし、変化にたしてはそれをしなやかに受け入れて活動してゆきたいと思えます。それぞれの委員会活動が愉しく、例会は参加をして居心地の良いクラブ運営を目指して活動をいたします。甚野敏弘幹事、齋藤嘉紀、阿部友弘両副幹事と、役員、理事の皆様と事務局の加藤にお世話になりながら会員の皆様のご協力を賜れば光栄です。

私の得意とする食べる事、飲むこともご期待ください。2018 年 2 月 27 日の 55 周年祝賀会に向けて積みあげて行きたいと企画しております。

それでは、本日はクラブ協議会を開催いたしますので、役員、理事の皆様どうぞ宜しくお願いいたします。それでは一年間一生懸命頑張りますので皆様どうぞ宜しくお願いいたします。